

一般講演プログラム

セッション	日時 会場	座長	演題番号	発表者	演題名
一般講演1 Absorption	11月17日（火） 9:30～10:30 C会場 2F 中会議室202	平林 英樹 (ティー・エヌ・テ クノス)	01-1	山口 勝利	可溶化製剤によるヘテロ二官能性分子の経口吸収性改善
			01-2	根古谷 怜司	メカニスティックモデルと機械学習の統合による皮下投与抗体医薬品のバイオアベイラビリティ予測
			01-3	新納 拓徒	PBBMおよびIn Vivo Predictive溶出試験システムを用いたヒト薬物動態予測性能の比較評価
		白坂 善之 (昭和薬科大学)	01-4	青山 尚寛	改変Caco-2アッセイおよび物理化学的パラメータを用いたヘテロ二機能性分子の経口バイオアベイラビリティ評価
			01-5	孫 熙忱	HPMC-ASを基剤とする非晶質固体分散体の生理学的薬物吸収モデリング
一般講演2 Toxicity, Pharmacogenetics/Biomarkers, Microphysiological Systems (Organs on a Chip)	11月17日（火） 9:30～10:45 D会場 1F 大会議室101	新京 楽 (エーザイ)	02-1	小石 翔太	CAF標的療法に向けた膵がんオンチップモデルの構築
			02-2	万々 桜	がん脳転移過程を可視化するヒト血液脳関門マイクロ流体モデル
			02-3	田中 拓実	シスプラチン誘発腎障害モデルラットにおける複数のバイオマーカーの経時的変動と薬物動態との関連解析
		登美 斉俊 (慶應義塾大学)	02-4	西原 翔大	エクソームを超えて：日本人集団のイントロン領域CYP2D6多型が引き起こす異常スプライシングと酵素機能欠損
			02-5	浅地 英	セロトニン-腸内細菌叢軸を介した薬物性消化器毒性およびその個体間変動の発現機構明
			02-6	薄田 健史	HLA多型が関与する薬物過敏症のCD8 ⁺ T細胞応答におけるケトジェニック食の影響
一般講演3 AI/Bioinformatics/Omics, Bioimaging/Bioanalysis	11月17日（火） 10:40～11:30 C会場 2F 中会議室202	佐藤 公也 (アステラス)	03-1	前田 祐希	ヒト剖検脳を用いたアルツハイマー病の最大危険因子APOE4による分子病態解明に向けた網羅的タンパク質解析
			03-2	湧谷 華織	LC-MSを用いたペバシズマブのバイオトランスフォーメーション解析手法の構築
		大槻 純男 (熊本大学)	03-3	孫 雨晨	ワンポットハイブリダイゼーション抽出に基づくギャップマー型アンチセンス医薬品ミボメルセンの高感度LC-MS定量法の開発とバリデーション
			03-4	扇田 彩希	マウス脳微小血管タンパク質の網羅的定量プロファイリングを目的としたマルチプレックスPRMパネルの構築

一般講演プログラム

セッション	日時 会場	座長	演題番号	発表者	演題名
一般講演4 Drug Metabolism Enzymes, Drug-Drug Interactions	11月17日（火） 14:15～15:15 D会場 1F 大会議室101	伊藤 晃成 （千葉大学） 中島 美紀 （金沢大学）	04-1	Ferbian Milas Siswanto	Aging-associated remodeling of the skeletal muscle CYPome: comparison with D-galactose-induced senescence in rats
			04-2	江崎 夏央	マウスにおけるUgt2b1とCyp3aの双方向の機能的相互作用
			04-3	鈴木 祐真	1年を1か月に一CYPバリエーションの酵素反応速度論的解析を加速する細胞ベースハイスループット評価系
			04-4	菅原 千晶	ヒト小腸由来培養細胞における由来組織とのタンパク発現プロファイルの比較および薬物の消化管代謝予測精度の検証
			04-5	中村 圭一朗	ヒト小腸上皮細胞モデルを用いたPXRを介する薬物代謝酵素・トランスポーター誘導の定量的機能評価
一般講演5 Drug-Drug Interactions, Transporters	11月17日（火） 15:25～16:25 D会場 1F 大会議室101	野崎 芳胤 （エーザイ） 井上 勝央 （東京薬科大学）	05-1	小野 諒太	血液クモ膜関門におけるOCT2/OCT3発現量の種差およびOAT3/Cx43の高発現に基づく有機カチオン・PGE2のCSF動態特性
			05-2	関羽 広和	小腸P糖タンパク質の糖鎖修飾亢進とintrinsic activity低下：イリノテカン誘発性消化管障害モデルラットを用いた検討
			05-3	Ruth Shekina Lumumba	ABCG2 c.421C>A (Q141K) 変異がpazopanib薬物動態に及ぼす影響は主に腸管ABCG2に起因する
			05-4	近藤 もも香	歯周病菌由来外膜小胞の血液脳関門輸送機構の解明
			05-5	高橋 玲子	テストステロンの血液脳関門におけるP-糖タンパク質を介した薬物との相互作用
一般講演6 Transporters	11月18日（水） 9:30～10:30 C会場 2F 中会議室202	設楽 悦久 （サノフィ） 加藤 将夫 （金沢大学）	06-1	中西 猛夫	プロスタグランジン膜輸送体（SLCO2A1）による基質輸送の分子機序
			06-2	増井 大紀	基底膜側排出トランスポーターの機能解析を目的としたヒト小腸スフェロイド由来分化細胞の活用
			06-3	佐藤 圭恭	OAT2/SLC22A7がnicotinic acid ribosideの細胞内取り込みおよび代謝に及ぼす影響
			06-4	伊藤 澄人	毛細胆管側ABCトランスポーターにおけるRelative Expression Factor（REF）法の基本仮説の再検証
			06-5	和泉 沙希	シクロスポリンAによるOATP1B1の時間依存的阻害に関するPBPK解析 ―Top-downおよびMiddle-outアプローチによる阻害機構解釈―

一般講演プログラム

セッション	日時 会場	座長	演題番号	発表者	演題名
一般講演7 Systems Pharmacology /Pharmacomet rics	11月18日（水） 10:40～11:40 C会場 2F 中会議室202	千葉 康司 （横浜薬科大学） 伊藤 清美 （武蔵野大学）	07-1	Meigang Lu	炎症性腸疾患患者におけるウステキヌマブの母集団薬物動態・曝露反応解析による実臨床ト ラフ目標値の探索
			07-2	井出 春佳	発達段階を考慮した早産児カフェイン治療の受容体占有モデル解析
			07-3	風岡 顯良	静脈内投与データが存在しないOATP1B基質のPBPKモデリングにおける非消失臓器Kp推定 誤差に対するパラメータ相互補償の限界
			07-4	都丸 充子	CGNMと組み合わせたメカニスティックPBPKモデルを使って、ヒトの腸肝循環を支配する 基本的なクリアランスプロセスをトップダウンで特定する
			07-5	富田 純子	エンドセリン受容体拮抗薬および内因性エンドセリン-1の血中濃度推移のPBPKモデル解析 に基づく受容体サブタイプ占有率の予測
一般講演8 Drug Delivery System	11月19日（木） 9:30～10:55 C会場 2F 中会議室202	山本 俊輔 （中外製薬） 降幡 知巳 （東京薬科大学）	08-1	中山 慎司	鼓室内投与を介した中枢組織への新たな薬物送達戦略
			08-2	小野 太稚	血液脳脊髄液関門を介したバイオ医薬品送達標的としてのAE2の同定
			08-3	張 意晨	GPIアンカー欠失型PH20をコードするmRNA搭載脂質ナノ粒子による腫瘍スフェロイド内ヒ アルロン酸分解の促進
			08-4	張 崇傑	ヒアルロン酸分解を実現するmRNA搭載ナノリポソームの腹腔内投与による腹腔転移性結腸 がん治療法の開発
			08-5	齊藤 直希	リソソームトランスポーターSialinの新規機能評価系構築
			08-6	福田 翔一郎	イオン液体を用いたGLP-1 受容体作動薬の腸管吸収促進技術の開発 ；セマグルチドの血中移 行性検討
			08-7	渡邊 夏海	<i>In vitro</i> ヒトBBBモデルにおけるSLSペプチド修飾アニオン性リポソームの輸送評価